

## 令和6年度 経営発達支援事業評価報告書

さつま町商工会 御中

さつま町商工会経営発達支援事業評価委員会

令和6年度の経営発達支援事業の評価結果について、次のとおり報告します。

項目	商工会 評価	委員会 評価	コメント
地域の経済動向調査に関する こと	B	B	全国商工会連合会が年4回程度実施している「小規模事業者景気動向調査」への調査協力を通じて動向を把握し、フィードバックを行っている。
経営状況の分析に関する こと	B	B	各セミナー内にて経営分析に関する内容を設定し、事業者自身が分析に当たれるよう機会を設けている。職員の経営分析能力向上に関する取り組みに期待したい。
事業計画策定支援に関する こと	B	B	補助金の活用や金融支援の際など事業者にとって計画策定機会は多く、都度個別に支援を実施することが多い状況。セミナー実施を通じ、長期間の支援に繋がる例も少なくない。
事業計画策定後の実施支援に 関すること	C	C	現在は巡回指導を中心に計画策定後の売上や事業所の発展を意識させるよう動いている。事業者が自主的にPDCAサイクルを構築し、定着する仕組み作りを急ぎたい。
需要動向調査に関する こと	C	C	事業の核となる「黒毛和牛・筍」を活用した新商品の開発に至っていないため、調査の進捗は芳しくない。対象とする飲食店との連携強化を期待したい。
新たな需要の開拓に寄与する 事業に関する こと	B	B	鹿児島県内外の展示会・イベントへの出展支援を通じて参加事業者の新しい販路獲得を行っている。多くの事業所が効果を得られるよう事業所の選定には注意したい。
地域経済活性化に資する取組	B	B	地域ブランド「薩摩のさつま」を通じて各組織の連携は強まっている印象である。当初の委員会設置は実現していないが、近しい状況が出来ていると評価出来る。
事業の円滑な実施に向けた支 援力向上のための取組	B	B	他団体のセミナー・会議等に定期的に参加し、連携強化と情報共有を行っている。特に日本政策金融公庫による勉強会や意見交換を積極的に実施し、円滑な金融支援を実施している点が評価出来る。

全体報告（総合評価）	B	B	概ね評価出来る項目が多いが、目標とする「経営基盤強化と持続的発展」という観点で散発的な支援とにならないよう注意が必要。各団体との連携は強みの一つであり、地域の活性化に繋がる連携支援の検討を期待したい。現況を勘案し、総合的にはB評価が妥当と判断する。
------------	---	---	--

- ※評価の目安
- A：目標を達成することができた。（100%）
  - B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）
  - C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）
  - D：目標をほとんど達成することができなかった。（30%未満）